

# 市内中小企業への緊急経済対策実施を! 学校図書館サポーターを増員できないか!

—市議会12月定例会での高橋美博議員の一般質問—

## 指定管理者制度導入の総括はどうか

**指定管理者制度**—公の施設の管理を民間に任せるもので、2003年9月の地方自治法改正により導入され、その後7年が経過。全国では7万余の施設に導入されている。しかし、県内でも草薙体育館や三ヶ日青年の家での死亡事故など重大な事故が発生。この3年間で指定取り消しや業務停止、期間満了取りやめが2100件と激増、制度の問題点が浮かび上がっている。

**問** 指定管理者の利益向上と市民サービス向上は直結せず、市民サービスの低下が心配される。利用者の声をどう反映させているのか。

**答** 本市では平成18年から導入、現在10グループ31施設で制度を適用している。アンケートボックス設置や利用者代表者会議、HPでの意見募集などにより意見・要望を把握し運営改善に反映している。

**問** 導入後、市民サービスは向上したのか。

**答** 民間事業者のノウハウや創意工夫を活かし効果的な施設運営に取り組んでいる。

**問** 問題となる事故や突発的な修繕はなかったのか。

**答** 制度導入以降これまでに、施設管理者に管理・監督責任が及ぶような事故等はない。

**問** 再委託先は指定管理者の裁量となり、経費削減のしわ寄せや市内業者に仕事が回らなくなるおそれがある。再委託先を把握しているのか。

**答** 応募の際に再委託予定一覧表の提出を求めるなど再委託先を把握し、適切に対応している。

**問** コスト削減競争で労働条件の低下が心配される。職員の待遇や雇用継続にも目配りがされているか。

**答** 事業者選定にあたり、地域の人材や高齢者の活用などの提案を参考にしている。また、労働関連法規の遵守を指示するなど、雇用と待遇にも配慮している。

## 市内中小企業への支援対策が必要では

**問** 民間の需要が低迷しているいまこそ、自治体自らが地域の仕事をつくるのが求められている。緊急に対策の実施が必要ではないか。

**答** 厳しい経済状況下にあると認識し、特に建設事業の発注には市内事業者への発注に配慮している。

**問** 物品購入でも市内業者を優先できないか。

**答** 本年9月に本市経済の活性化や市内業者の育成、地域雇用促進を図る観点から市内業者への発注を優先するよう周知徹底を図った。

**問** 21年度から実施となった小規模工事登録制度の実績はどうか。制度周知で登録業者を増やすべきでは。

**答** 登録事業者は運用当初の30事業者から59事業者と2倍となった。21年の実績は発注件数125件、発注金額は960万円だったが、本年度は9月現在73件、約550万円と若干増となっている。本制度を活用し、小規模事業者の受注機会を増大するよう努めていく。なお、現在の上限30万円の引き上げも検討する。

**問** 秋田県や岩手県宮古市が実施しているような、住宅リホームの際の経費の一部を補助する制度を実施す

れば、地域の景気浮揚につながると思うがどうか。

**答** 本市では住宅耐震化補助制度の活用し、まずは地震対策に重点を置いてすすめていきたい。

**問** 入札の競争激化や落札価格の下落、指定管理者制度導入などが労働者の賃下げにつながっている。野田市や川崎市では公契約条例を制定し、公正な労働条件を保つことを入札条件としている。本制度を市長はどう考えているか。

**答** 公的機関と請負業者が締結する公契約に基づく業務に従事する労働者の保護を目的にしているものと認識している。本市においては県の積算基準に基づき適正な人件費を積算しており導入は考えていない。

**問** 磐田市や掛川市では公共施設の小規模修繕や自治会要望に対応した緊急経済対策の予算が計上されている。本市でも実施すべきではないか。

**答** 国の補正予算が11月末に追加されたので12月の追加補正も考えたい。事業化の際には市内業者に発注できるよう配慮して組み立てをしていきたい。

## 中央図書館建設構想の内容は

**問** 市教育施設整備10箇年計画に位置づけられているがその内容はどうか。

**答** 計画に示した規模は掛川市や磐田市の図書館規模を参考に算出した概算で、これからの検討が必要である。

**問** 現在の図書館の利用状況は。利便性向上で問題となっていることや不足している機能はなにか。

**答** 床面積、蔵書冊数、貸出冊数のいずれもほぼ県内市立図書館の平均値である。もう少し読書・学習スペースがほしいことや、ボランティアが作業するスペースも必要となっている。また、電子図書等の機器整備の必要性もある。

## 学校図書館の更なる充実整備を

**問** 平成17年から非常勤の図書館サポーターが配置された。その仕事の内容はどうか。

**答** 現在5人が拠点校を中心に、それぞれ3、4校を担当し週1回以上全校を巡回。1日4時間、年間160日を基本に勤務。蔵書管理や環境整備、読書相談・読み聞かせ・調べ学習の手伝いなど有効に機能している。

**問** サポーター配置による成果はどうか。

**答** 児童生徒一人当たりの年間貸し出し冊数は巡回校でも15.8冊と段階的に伸びている。

**問** 三島市や富士市では図書館司書を全校に配置している。袋井市でも増員や時間数を増やすべきでは。

**答** 当面は現状ですすめていきたい。

**2億2170万円の12月追加補正予算を計上** 国の補正予算が成立し、24日の最終日に上程されることになりました。住宅耐震化事業、公共施設や学校などの小規模修繕、図書の購入費などに充てられます。

日本共産党  
袋井市議団ニュース  
発行 2010年12月23日